

観光や飲食店の未来が心配

高校生 黒岩 加愛 16 石川県かほく市

私がこの2カ月間、家にいて思ったことは、これからの観光業や飲食店などのお店はどうなっていくのだろうということです。緊急事態宣言が発令されてからお店は臨時休業になり、学校も休校になってしまいました。外出するのは週に1、2回程度で、テレビを見ても新型コロナウイルスのニュースばかり。とても気分が落ち込んでしまいました。

この春からアルバイトを始めたが、緊急事態宣言のせいで

お客さんは数人しか来ません。当然、赤字です。お店を助けるために、もっと助成金を出した方がよいと思

います。なぜなら、テレビのニュースで「今もらえる助成金だけでは足りない」と放送されていたからです。

政府はもっと国民の声を聞くべきだと思います。いつか、コロナ以前のような普段通りの生活ができる日が来てほしいです。



自粛ストレス 人にぶつけず

高校生 浦 真友里 16 金沢市

新型コロナウイルスが私たちにもたらしたものは、外出自粛による経済的な問題、リモートでも人と関わ

る大切さなどたくさんあります。中でも私たち10代に身近だったものは会員制交流サイト(SNS)です。

朝起きてすぐに目を通すのはツイッターのトレンドでした。ステイホームの間、ほとんど毎日違う芸能人や、一般人への批

判が行われていました。「自粛警察」という言葉が有名になったくらいです。不要不急の外出に注意すべきですが、暴言を他人にぶつけることは許されません。どうしてここまで激しく炎上したのかと考えると、私はそれが新型コロナによる自粛でのストレスからだと思います。

これから第2波が怖いし、マスクもはずせません。まだまだストレスは続くので、誰かに向けて個人が解消できる方法を見つけられればと思います。